

製品名: AFAP1L2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81778**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	91.3kDa

抗原情報

遺伝子名	AFAP1L2
別名	XB130; KIAA1914; CTB-1144G6.4
遺伝子 ID	84632.0
SwissProt ID	Q8N4X5
免疫原	大腸菌で発現したヒト AFAP1L2 (AA: 674-818) の精製された組み換え断片。

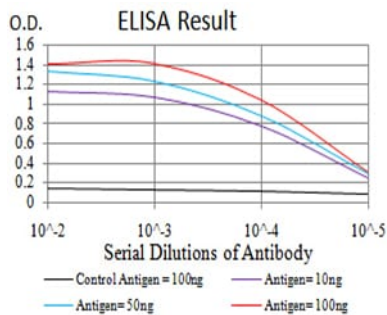
背景

AFAP1L2 (アクチンフィラメント関連タンパク質 1 類似体 2) はタンパク質コード遺伝子です。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、SH3 ドメイン結合活性とタンパク質チロシンキナーゼ活性化因子活性が含まれます。この遺伝子の重要なパラログは

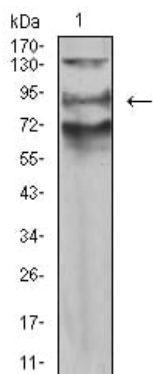
AFAP1 です。

研究分野

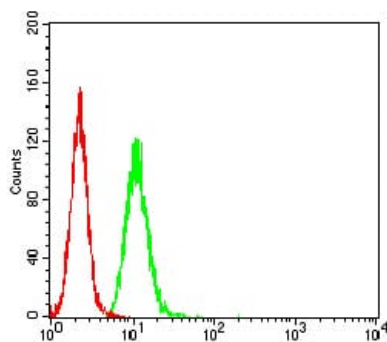
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



A549 (1) 細胞溶解物に対する AFAP1L2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



AFAP1L2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。